

広報

No.140

くらみ

昭和60年2月15日

発行・編集 国見町企画課

人工的につくれない血液だから.....	2～3
老人家庭奉仕員が決まる.....	4
ふるさとの文化財.....	5
おしらせ.....	6～7
公民館だより.....	8～9
わだい.....	10



'85
2月

ボランティア

⑩

—子供たちの無事を見守り続けて20年—

高野ミヤ子さん

健康に感謝して

人類は幾多の困難をのりこえて多くの生命を輸血によって救うことができるようになりました。

しかし、輸血用の血液はどんなに科学が進歩しても人工的につくることができないし、かわりの医薬品もありません。

健康なあなたの献血が
尊い生命を救います。

安全な献血... はじめての方でも 心配はありません.....

○採血前に健康状態を確認し医師が健康診断を行います。

○献血された200mlの血液量は2~3時間で回復いたします。

○200mlの採血量は全血液量(体重の6~8%)からみても健康上の支障は全くありません。

人工的につくれない血液だから

あなたは献血ができます

- 16才から64才までの方
- 体重が男子で45kg以上、女子は40kg以上の方
- 薬を服用していたり、妊娠中でない方

献血されるあなたは心身ともに健康である証拠です。

健康管理に役立つ献血

血液センターでは、献血された血液について生化学的検査を行っており、この検査結果を献血者全員にお知らせしております。

この他全血比重、ABO式とRh式血液型、HBs抗原などの検査を行っています。これらの検査結果については異常があった場合にお知らせします。

献血で尊い生命を救い、献血であなたの健康管理と病気の早期発見、予防の一助としてお役立て下さい。



▲献血中の人たち

献血ありがとうございます

二月一日献血車が来町

(順不同、敬称略)

(一般協力)

斎 鈴 小 瀬 佐 板 玉 鈴 鈴 瀬 佐
藤 野 野 久 橋 手 木 木 戸 藤
ア 明 八 と 正 セ 真 洋 ヨ 彦 和
キ 子 重 み 男 ツ 司 シ 衛 子
吉 玉 瀬 小 鈴 佐 岩 鈴 佐 瀬
田 手 戸 林 木 藤 藤 城 木 藤 戸
春 富 正 キ 昭 ミ 利 久 英 イ ユ
子 子 次 ヌ 一 キ 郎 人 行 キ

佐 德 松 三 廣 六 岩 佐 鈴 鈴 井 佐 井 鈴
藤 江 浦 輪 居 戸 城 藤 木 木 砂 藤 砂 木
幸 博 惣 ミ ト 重 隆 洋 光 正 由 洋 洋 貴
夫 典 一 ト リ 夫 一 勉 一 子 明 男 子 美
佐 大 村 大 佐 高 佐 鈴 佐 佐 遠 井 佐 佐
久 津 上 森 藤 橋 藤 木 藤 藤 久 間 藤 砂 藤 重 佐
ツ 森 健 忠 三 正 清 一 松 伊 勢 重 佐 陽
ヤ 治 一 男 志 春 郎 子 男 子 吉 子

昭和59年度 目標	
福島県	110,000本
国見町	550本 (人口割)
町実績	663本
	(目標達成率 120.5%)
昭和60年度 町目標	571本

鈴 篠 森 鈴
木 々 田 木 信
道 博 国 晴 也
子 志 枝 子 鈴
佐 赤 佐 鈴
藤 坂 々 木 木
キ 裕 孝 京
ミ 子 一 子

(国見電子)

高 小 若 市 武 近 大 阿 木 渡 八
橋 林 生 山 江 内 部 村 部 卷
昭 瑞 京 田 秀 幸 七 ナ 良 モ
子 子 子 子 子 子 子 子 子 子
淡 神 松 矢 波 渡 松 野 高 鈴 佐
谷 林 浦 部 山 辺 浦 村 原 木 藤
つ 里 テ ヒ カ イ ハ 富 加 の 京
ぎ 美 イ ロ ヌ ク ル 美 代 り の 子
子 子 子 子 子 子 子 子 子 子

(国見タイツ)

斎 佐 高
藤 藤 原
敬 福 英
一 太 一
阿 佐 実
部 藤 沢
英 利 功
子 夫 功

(国見町農協)

三 市 近 菊 穂 八
品 川 江 地 月 島
日 公 幸 幸 辰 和
出 子 江 喜 也 子
男 子 江 喜 也 子
後 佐 吉 稻 斎
藤 藤 田 村 藤
忠 光 と き ヨ 則
一 信 子 ツ 雄

菊 蓬 国
地 田 分
富 恭 次
子 子 雄
羽 菅 遠
根 野 藤
孝 信 喜
司 朗 正

(国見町役場)

佐 吉 菊 佐 八
藤 田 地 藤 島
孝 重 喜 一
文 夫 伸 進 成
清 岡 菅 石 鈴
野 崎 野 渡 木
富 好 敏
雄 昇 美 孝 弘

(信用金庫)



▲献血前に健康診断

協力者 一三二名
採血者 一六六名

献血スローガンを募集

国見町献血推進協議会では、昭和60年度の献血活動にむけて、町独自のスローガンを募集いたします。

要領は次のとおりですので、奮ってご応募ください。

採用者の方には協議会から記念品が贈られます。

1. 応募方法

30字以内にまとめ、官製ハガキで応募ください。

2. 応募先

国見町大字藤田字一丁田二、2の1 国見町役場保健課内
国見町献血推進協議会

3. 応募期間

昭和60年2月15日から昭和60年3月7日まで

※くわしくは、町役場保健課(☎85-2111)へおたずねください。

老人家庭奉仕員が決まる

(ホームヘルパー)

このほど、八島知子さん(石母田字姪沢四)と高橋直子さん(山崎字荒沢七)が、新たに老人家庭奉仕員として町から委嘱されました。

老人家庭奉仕員は、心身の障害や病気などでわたりの状態とか、一人暮らしで日常生活に支障をきたしている方を訪問し、わたりの老人や、一人暮らしの老人の日常生活上のお世話をします。

なお、老人家庭奉仕員の訪問を希望される方は、担当民生委員が役場住民課福祉係へご相談ください。



高橋直子さん



八島知子さん

〔老人家庭奉仕員の仕事〕

大きく分けて二つあります。まず一つめは家事介護、二つめは相談、助言です。

(一) 家事介護

- ① 食事の世話
- ② 衣類の洗濯、補修
- ③ 住居などの掃除
- ④ 身のまわりの世話
- ⑤ 生活必需品の買物
- ⑥ 医療機関との連絡、通院 介助
- ⑦ その他必要な家事介護

(二) 相談・助言

- ① 生活、身上に関する相談、助言
- ② その他必要な相談、助言



身近にある野草・薬草

⑧

フキ・フキノトウ

本州、四国、九州の山野や道端、川岸などの日当たりのよいところに自生するほか、栽培も行われます。

雌雄異株の多年草で、早春、地下の根茎から大型の苞をつけた花茎を二十cmほど伸ばし、その先に頭状花をつけます。雌花は白色、雄花は黄白色で、その花茎をフキノトウと呼んで、食用、薬用にします。

▼薬用▲

フキノトウがまだつぼみのころに花茎を採取し、日陰干しにします。

せき止めに一日量として乾燥したフキノトウ十〜二十グラムを水四百ccで半量になるまで煎じ、三回に分服。

▼食用▲

茎は地下茎を抜かないように、根元から採取。フキノトウは開ききつていないものを地ぎわか



ら指でちぎりとりませう。

料理 茎はアクが強いので、アク抜きをきちんとすること。

煮物、油いため、各種あえ物、フキごはんなどいろいろに使えます。葉もゆでてアク抜き、つくど煮に。

フキノトウは、外側のきたない苞をとり、一つまみの塩を入れてゆで、冷水にさらしアクを抜き、煮びたし、油いため、つくど煮、ごまあえ、みそあえに特に、こまかく切つて油でいため、みりん、みそを加え、弱火でいため煮したフキノトウみそは、おいしく、酒の肴、熱いごはんのおかずにあいます。

また、生のまま天ぷら、みじんに切つて汁の爽、薬味として、早春の香りを楽しめます。

(山野草カラー百科から)

ふるさとの文化財

⑪

町指定史跡

堰下古墳

菊池利雄

旧奥州街道沿いの泉田字堰下には、町指定の史跡「堰下古墳」がある。

古墳は標高が九十メートルほどの独立丘陵の頂上部東端にあつて、眼下にはかつて古代に桑里制水田の展開をみた西根台地の広がりが見られる。

古墳のある丘陵上には、昭和三十四年に町営の住宅団地が建設され、その際の道路工事によって墳丘の一部が削りとられて、旧状の規模は明確でないが、直径が約二十一メートル、高さが三メートル、表面には葺石がふかされた円墳であり、大正時代地元の人たちによって、発掘がなされ、素焼きの土器や鏡、短刀などが出土したといわれるが、これらの遺物は現存しない。

昭和四十六年五月、国見町教

育委員会では、町史編さんの資料収集のため、目黒吉明氏に依頼して発掘調査を行ったが、大正時代の発掘により、内部の構造が徹底的な攪乱をうけて、石室などの内部遺構は明らかにできなかつたが、墳丘部にある扁平な凝灰岩は、組立式石棺の蓋石とみられ、出土した埴輪片などから、墳丘頂部の平坦面の周りには、円筒埴輪の配列がなされていたとみられる。

また墳丘斜面の土中からは、この時代における祭祠器具とされる、石製模造品が採集されている。

円筒埴輪や石製模造品、出土した副葬品などからみて、中期古墳とされる堰下古墳は、山頂部に立地するなど、前期古墳の特色あいが強いことからみて、前期から中期への移行期のものとされ、この地域では最も古い古墳であり、塚野目八幡塚古墳よりもすこし早い時期のものである。

なお、この古墳の南の地域からは、弥生時代の遺物である磨製石斧が故野村隆一氏によって採集されている。



国見町史Ⅰ・Ⅱ巻、国見の文化財一集所収、堰下古墳発掘調査

戦後この古墳跡からはすぐれた美術品である和鏡「洲浜双鳥鏡」が出土している。この種の和鏡が出土するのは経塚の場合が多いことからみて、堰下古墳は平安時代末期頃から、佛教の末法思想の盛行にともないこの古墳上にも経塚が営まれて、経筒とともに、この鏡が埋藏されたものであろう。

参考文献

昭和四十八年三月、町では堰下古墳を史跡に指定し、保護にあたっている。

■表紙 カメラ歳時記 ⑩ 「ボランティア」

子供たちの

無事を見守り二十年



お父さん、お母さんになってしまつて、なんだか、あつという間に二十年もたつてしまつて」と話すミヤ子さん。帰りが、母親のカネヨさん（七十歳）がめんどろを見ているとのこと。

「毎年四月になると、どんな子がくるか、とても楽しみです。その頃は、みんなおとなしいのですが、だんだんなれてくるとはしゃぐようになってしまつて、交通量が増えた今では、とてもあぶないんです」とミヤ子さんの店の前が停留所になっているので、子供に何かあったら大変、とのことだ。始めたそうで、今では当たり前になつてしまつたそうです。

小坂地区からバスに乗り、藤田幼稚園に通っている子供たちを、交通事故にあわないように二十年も見守り続けている方がいます。高野ミヤ子さん（小坂字小坂一〇 四十一歳）です。

日曜日を除く毎朝八時二十一分発のバスに、十四人の子供が乗るまでの間、交通事故にあわないよう家の中に入れて休ませたり、横断歩道を渡らせたりの世話をしています。

「今までに二百五十人くらいの子供のめんどうを見てきました。最初の子供は、今では

所得稅
町民稅
個人事業稅

申告は
3月15日までに



昭和59年分 住民稅申告相談日程表

月	日	申告相談対象地区	
		午前 の 部 落	午後 の 部 落
2	12	火 貝田北	貝田南
	13	水 高城	光明寺
	14	木 山根	大木戸
	15	金 小坂、太田川	前田、板橋
	18	月 泉田上、泉田中	泉田下、鳥取
	19	火 確定申告(譲渡、営産業)	稅務署
	20	水 内谷西、内谷東	山崎北、滝山、上野、石母田東
	21	木 石母田表、石母田北、鶴町	石母田原、石母田西
	22	金 確定申告(農業、大木戸地区)町	
	25	月 確定申告(農業、小坂地区)町	
	26	火 町東、宮東、耕谷	山崎館、山崎小館、宮前
	27	水 源宗山東、西、北、大坂	駅前、錦町
	28	木 大町南、大町北	本町、宮町南
3	1	金 宮町北	確定申告(農業、大木戸地区)
	4	月 確定申告(農業、藤田地区)町	
	5	火 確定申告(農業、森江野地区)町	
	6	水 確定申告(農業、森江野、大枝地区)町	
	7	木 確定申告(農業、小坂) (営業、町依頼分)	
	8	金 森江野第一	森江野第二、第三
	11	月 森江野第四、第五	森江野第六、第七
	12	火 森江野第八、第十	森江野第九、第十一
	13	水 森江野第十二	原町、築館、並柳
	14	木 中部、北部	川内
	15	金 確定申告一般	

☆申告においでの方は、混雑しますので日時をお守りください。

"あとで"より"いま"が大切
火の始末

春の全国火災予防運動
2月28日～3月13日

昭和五十九年分所得の、所得税、町民税、個人事業税の申告の時期となりました。町では、この申告について、みなさんの便宜をはかるため、次のような日程で申告相談所を役場に開設します。それなく申告をするようにしてください。

会場 役場第一会議室(二階)
(東側入口から入りください)
時間 午前九時から午後四時
まで

必ず申告者本人がおいでください。
① 持参するもの
一、送付されている申告書と印鑑
二、生命保険、個人年金保険、生命共済、建物共済および損害保険料などの払込証明書
三、医療費支払証明書(支払医療費が所得金額の五%または五万円を超える方)
四、譲渡所得のある方は売買契約書
五、申告者および家族の方が日雇、出稼などを行っている場合は給

与証明書
六、水稲、果樹、養蚕などの共済
七、大道具などを昭和五十九年中に購入された方はその領収書
八、事業(商売など)をしている方は総仕入、売上、経費などの帳簿
九、還付申告をされる方は、給与所得の源泉徴収票
十、その他、必要と認められる証明書などの書類

四月から

六千七百四十円に

国民年金保険料

これは、年金額が物価上昇などに合わせて毎年増額されていくために、そのときどきの年金額に見合った保険料を納めています。保険料を納め忘れていたと、将来、老令年金や不慮の事故にあつたとき、障害年金や母子年金が受けられなくなってしまうので、一年分の保険料を四月に納めましょう。

なお、一年分の保険料を四月にまとめて納入すれば、割引(五分五厘)され、納め忘れということもなくなりますので、ぜひご利用ください。

戸籍の窓口

(1月受付分)

出生おめでとうございます

義祐	弘(よ)	子(こ)	名(な)	保(ほ)	護(ご)	者(しや)	部(ぶ)	落(らく)
祐(ゆう)	美(み)	久(きう)	久(きう)	久(きう)	久(きう)	久(きう)	久(きう)	北(きた)
智(ち)	介(けい)	ひ(ひ)	み(み)	内(うち)	村(むら)	義(ぎ)	宮(みや)	前(まへ)
恵(え)	美(み)	ゆ(ゆ)	す(す)	根(ね)	木(き)	文(ぶん)	宮(みや)	内(うち)
和(わ)	幸(こう)	ち(ち)	あ(あ)	上(うへ)	上(うへ)	二(に)	川(がわ)	東(とう)
千(ち)	明(めい)	か(か)	ゆ(ゆ)	緑(りく)	上(うへ)	光(こう)	板(いた)	内(うち)
拓(たく)	哉(がい)	た(た)	あ(あ)	亀(かめ)	岡(おか)	二(に)	川(がわ)	東(とう)
由(ゆ)	美(み)	た(た)	あ(あ)	こ(こ)	市(し)	川(がわ)	源(げん)	二(に)
裕(ゆう)	昭(しょう)	ひ(ひ)	あ(あ)	渡(わた)	邊(べ)	正(せい)	光(こう)	寺(てら)
真(ま)	彦(ひこ)	さ(さ)	は(は)	高(たか)	橋(はし)	武(ぶ)	明(めい)	田(で)
千(ち)	彦(ひこ)	ま(ま)	は(は)	比(ひ)	金(かね)	貞(さだ)	山(やま)	北(きた)
竜(りゆう)	彦(ひこ)	た(た)	は(は)	大(おほ)	塚(づか)	敏(とみ)	母(はは)	西(にし)
竜(りゆう)	香(かう)	ゆ(ゆ)	か(か)	安(やす)	孫(まご)	和(わ)	田(で)	上(うへ)
慶(けい)	明(めい)	よ(よ)	あ(あ)	松(まつ)	浦(うら)	守(まも)	木(き)	戸(こ)

ご結婚おめでとうございます

氏(し)	名(な)	落(らく)
菅(すが)	野(の)	東(とう)
岡(おか)	崎(さき)	谷(たに)
佐(さ)	藤(ふじ)	川(がわ)
佐(さ)	藤(ふじ)	母(はは)
渡(わた)	邊(べ)	田(で)
後(ご)	藤(ふじ)	山(やま)

おくやみ申し上げます

氏(し)	名(な)	年(ねん)	部(ぶ)	落(らく)
大(おほ)	河(か)	41	貝(かい)	田(で)
近(ちか)	野(の)	73	耕(こう)	谷(たに)
桜(おう)	戸(こ)	84	明(めい)	寺(てら)
六(む)	木(き)	81	母(はは)	北(きた)
三(さん)	木(き)	77	石(いし)	十(じゅう)
三(さん)	木(き)	67	川(がわ)	内(うち)
佐(さ)	久(きう)	72	第(だい)	北(きた)
佐(さ)	久(きう)	85	江(え)	館(くわん)
久(きう)	間(ま)	79	小(こ)	北(きた)

人口と世帯

2月1日現在(前月比)1月中のうごき

人(ひと)	男(おとこ)	5,847人(+1)	転(てん)	入(いり)	14人
	女(め)	6,177人(±0)	転(てん)	出(で)	18人
口(くち)	計(けい)	12,024人(+1)	出(で)	生(せい)	15人
世帯数(せたいすう)		2,870戸(+3)	死(し)	亡(わう)	10人



2月 如月(きさらぎ)

3月 弥生(やよい)

17日(日)	参議院福島選挙区 補次選挙投票日	1日(金)	全国緑化運動
19日(火)	雨水	3日(日)	耳の日
24日(日)	青春祭(公民館で)	6日(水)	啓蟄
28日(木)	火災予防運動	7日(木)	消防記念日
		8日(金)	国際婦人デー

心配ごと相談回

場所：役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)

時間：9時～12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対を守ります。

[相談員]

2月25日(月)	高橋 隆雄・安藤 トヨ
3月5日(火)	吉川 弥吉・黒田 ヒロ
3月15日(金)	櫻沢 正・吉田とし子

善意の窓

町社会福祉協議会に

◆匿名希望
二万円

◆近野好志さん(耕谷)から
一万円―故仁さんのご遺志

◆近野好志さん(耕谷)から
一万円―故仁さんのご遺志

◆六戸知一さん(石母田北)から
二万円―勇吉さんのご遺志

◆六戸知一さん(石母田北)から
六万円―故勇吉さんのご遺志

◆佐藤賢二さん(徳江北)から
五万円―故新七さんのご遺志

◆菊地忠一さん(第十)から
二万円―故シイさんのご遺志

藤田小学校に

◆近野好志さん(耕谷)から
一万円―故仁さんのご遺志

森江野小学校に

◆古溝忠一さん(前田)から
放送至暗幕一式(三万円相当)

◆後藤武臣さん(宮町北)から
児童図書(二万円相当)―故保さんのご遺志

小坂小学校に

◆昭和三十一年度藤田小学校卒業生一同(代表 一條信郎さん)から
十万円と同級会記念誌(十冊)

◆六戸知一さん(石母田北)から
二万円―故勇吉さんのご遺志

◆村上ハルさん(第八)から
雑布三十五枚

教育委員会に

◆斎藤春男さん(町東)から
文政五年の長持一俵

◆武田正昭さん(第三)から
三万円―教材用として

藤田保育所に

◆昭和三十一年度森江野小学校卒業生一同から
五万四千円―初老としなおしとして

◆八巻忠一さん(徳江北)から
二万円―故正男さんのご遺志

公民館だより

成人式

(華やかさの中厳肅に)

国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156



▲代表で答辞を読む小川由紀さん

一月十五日午前十時から町公民館で成人式が行われました。この日大人の仲間入りをした百三十八名は、菊地町長から、「ふるさと国見の将来を遠望しつつたくましく自分の人生を歩んでください」と励ましの言葉を授け、次いで成人証書、記念品などが贈られました。また、来賓を代表して賀藤町



▲式的あとなごやかに歓談する成人者のみなさん

議会議長の祝辞があり、最後に成人を代表して森山の小川由紀さんが「人間としての自覚と決意を持って豊かな地域づくりに精いっぱい努力します」と答辞がありました。全員で記念写真撮影の後、サウンド・アップの皆さんによる軽快な演奏を背に、おすしなどをつまみながら、二十年の思い出

出を級友と楽しく話し合っていました。



成人の日1月15日

高齢者教室

「寿 祝」

一月二十五日、一月の学習と新年会「寿祝」を恒例により行い、長寿を祝福しました。

最初学習として「町づくりと町政の概要」というテーマで、菊地町長のお話しを聞き、これからの町づくりについての理解を深め有意義な学習をしました。続いて寿祝の行事に入り、学級生の中で古希に該当される方十一名、喜寿の方二十二名、米寿の方四名、合計三十七名の方々に委員長から祝詞と記念品が贈られ、町長、教育委員会から祝辞をうけました。その後藤田会の方々による日本舞踊を観賞し、午後は学級生の、のど自慢などもありなかなか楽しい一日を送りました。なお、今年度の高齢者教室は二月二十七日で閉講することになりました。

高齢者教室の 寿祝に思う

委員長 藤田勝衛



▲委員長から記念品を受ける米寿のみなさん

一月二十五日高齢者教室の例年行われている新年会(寿祝)が開催された。寿祝に該当されている方三十七名を中心に二百余名が元気に参集し、お互いの元気を祝福し、米寿に該当される方四名、喜寿に該当される方二十二名、古希に該当される方十一名の方々の一層の健康を祈念した。私の子供時代は、五十歳を超えると相当の老人と思われていた。人生五十年と言われていたのも、そう昔のことではない。私の父は五十六歳で亡くな

ったが私は子供心に、悲しかったが、それほど若死とも思っていなかったのである。しかるに今日では平均寿命が急に伸びて人生八十年と言われる時代になった。五十、六十代は働き盛りである。六十歳台で亡くなったたりする。随分若死だったね」と言われる時代にあってしまった。真に喜ばしい時代になったと思う。しかし社会の高齢化は、それに伴って色々の問題が発生して来ている。人口問題審議会が過般人口白書を発表し、その中に「高齢者を単に扶養すべき人口と考えず高齢者の多様な社会参加を促進することが、社会の活力向上と生きがいの増進を両立させる解決策である」という視点を打ち出し、社会の仕組みを高年齢者の自立に適したものに要している必要があることを主張している。

今日、六十五歳以上でも社会で活躍している人は非常に多い。中高年の労働力は革新性や、適応力に劣るかも知れないが、信頼性、着実性、経験の豊かさなどは若い労働力より優れている面は多くあると思う。従って社会や我々高齢者も希望を持って、こうした環境作りで専心されることが必要でないだろうか。

少年仲間づくり教室

雪あそび

去る一月十三日 福島市高湯スキー場で教室生三十名が参加して、スキーやそりすべり、宝さがしなどを終日楽しみました。

「楽しかったスキー教室」

森江野小五年

武田 弘克

今日は、前からとっても楽しみにしていたスキー教室の日です。朝食を早めにすませてから家を出ました。ぼくは生れて始めてスキーをするのでとても不



▲みんなで仲よくスキーを楽しむ

安でした。

スキー場につき、くつやスキーを貸りてさっそく身じたくをしました。すると急に気がつかう。ききしてうれいものとスキーをはいて歩けるかな、そしてこの真白い雪の上をすべるかなと、とっても不安な気持ちで来たと。準備体操を始める。と、さっそく転んでしまいました。起き上がろうとしてみても起き上がりません。そしたら指導者の人に「黒田のは悪い例だ」と言われました。ぼくは心の中で「黒田ではないよ黒田だよ」と独言を言いました。

さっそくすべって見ました。そしたら何回も何回も転んでいるうちに少しすべられるようになってきました。そして昼になったのでロウソクで暖かいトンじるとおむすびを食べました。それからまたすべりましたが、午前中よりうまくすべりました。二時ごろからは全員で宝さがしをしロウソクで帰りました。

本当に楽しい一日でした。

「思っ出っぼっ」

二月三日町公民館で教室生とその父兄八十名が出席して、閉級式が行われました。

館長から修了証書をいただき

来賓の穴戸藤田小校長先生からねぎらいのことがありました。

続いて、五人の修了生から、楽しかったキャンプや雪あそびなどの思い出が発表されました。

この後、お別れパーティーが開かれ、父兄とともに、輪ゴム渡しゲームなどを楽しみました。

最後に、一年間お世話になった「サークルばけつ」との方から「教室で生まれた友情を大切にし、子ども会のリーダーとして頑張ってください」との励ましのことばで、幕を閉じました。

「教室に参加して」

大木戸小五年 斎藤美穂

はじめて仲間づくりに参加したとき、リーダーについてのお話があり、リーダーというの

は責任感がなくてはならないということでしたがこの一年間でよくそのことがわかりました。

キャンプ、ウォークラリー、たこづくりなど、いろいろ教えていただきました。私が一番心に残っていることは、ウォークラリーをした時のことです。五人くらいで一グルーブになり、私は四班でした。地図とおかしをわたされた公民館を出発しました。出発してすぐのところまで道に迷ってしまいました。私たちは「ちがう」と言うのに男の人は「いいんだよ」と言ってますんで行きました。藤田小学校のところまで来てまちがいだとわかりました。急いでみんなの班においつきました。

私は道に迷ったおかげで班の人たちとうちとけることができ、私たちは、ところどころの史跡にクイズがありみんなそれを解き終点のあつかし山をめざしました。そして頂上に「へト、へト」になり到着しました。そこには、みんなに会の用意がしてあり、みんなでおおいいたいただきました。

仲間づくり教室は、とても楽しい思い出がたくさんあり参加して本当によかったと思います。

サークルばけつのお兄さん、お姉さんたちには、大変、お世話になりました。

▲なごりを惜しみながらの閉級式



公民館運営審議会を開催

昭和六十年度公民館事業計画について話し合う

一月二十一日午後一時三十分から、公民館で運営審議会が開催されました。

渡辺公民館長、佐藤元一審議会長のあいさつの後、今月初の試みとして、全委員二十名を四つの部会に分け、一部会五名の委員で構成し、各部会ごとに熱心に討議しました。

「青少年問題」「家庭・婦人問題」「成人・高齢者問題」「社会体育問題」の四部会で、各委員は希望で各部会に入ってもいい、公民館職員もそれに加わり、昭和六十年度の公民館事業について、各委員のご意見を伺いおける在り方などについて、一時間三十分にと話し合いが行われました。

全体会では、各部会の部長から、部会での話し合いの結果が報告されました。今回の部会制は、各委員が発言する時間も十分あり、また、各問題について突っ込んだ話し合いができ、各委員から好評でした。

委員の皆さん、ありがとうございました。



親子で仲良くモチつき

～大木戸小学校で～



▲慣れないながらも 元気にモチつき

一月二十日、大木戸小学校で「親子モチつき大会」が開かれ、全校児童、PTAのお父さん、お母さん約二百五十人が、親子で楽しくモチつきを行いました。町が進める米の消費拡大事業の一助として、PTAが主となって開催したもので、父親参観

のあとに行われました。一・六年、二・五年、三・四年のプロックに分かれ、親子で協力しながらつきあげたモチは、十ウスで九十キロ。

児童たちにとっても、勤労体験的学習の一環とあつて、初めて挑戦するモチつきに、はしやぎながらキネを振り下ろしていました。

つきあがつたモチは、さつそくお母さんたちが雑煮やきなこモチにしてくれ、親子で仲良く舌つづみを打っていました。

文化財を火災から守れ

～キビキビと消防訓練～



▲寒風の中、本番さながらに放水

「文化財防火デー」の一月二十六日、親月台にある県指定重要文化財の「旧佐藤家住宅」を舞台に、大がかりな消防訓練を展開しました。「旧佐藤家住宅」は、江戸中期に創建された寄せ棟造り平屋カヤぶき住宅で、当時の標準的住宅として建築史、民俗学的見地から貴重なものとされ、昭和四十七年四月七日、県から重要文化財の指定を受けました。

十六日、親月台にある県指定重要文化財の「旧佐藤家住宅」を舞台に、大がかりな消防訓練を展開しました。「旧佐藤家住宅」は、江戸中期に創建された寄せ棟造り平屋カヤぶき住宅で、当時の標準的住宅として建築史、民俗学的見地から貴重なものとされ、昭和四十七年四月七日、県から重要文化財の指定を受けました。



▲ハシゴ車も出動

元気にモチつき

～小坂小学校で～



▲父兄といっしょにモチつき

一月二十日、小坂小学校で、収穫祭を兼ねた、冬のつどいが開かれ、百二十九名の全校児童がモチつきを楽しみました。勤労体験的学習の一環として、昨年十月に収穫したコシヒカリをもち米と交換して行ったものを、この日は寒風吹き、小雪が

防協力会、文化財保護審議会委員など約百五十人、ハシゴ車、ポンプ車など車両十六台が参加し、入館者の避難誘導、初期消火、救急活動など、寒風吹きさぶ中、本番さながらに展開されました。

編集日記

降るあいにくの天気でしたが、一年生から六年生までが交った六班で、かわるがわる元気にモチをついていました。PTAのお父さんやお母さんに手伝ってもらってつきあげたモチは約三十キロ。さつそくきなモチに舌つづみを打っていました。

このあと、フォークダンスやゲームをして、低学年も高学年も一緒になって楽しいひとときを過ごしました。

○先日、取材の道すがら、ねこやなぎの花が咲いているのを見かけました。今年は、昨年と違って暖かい日が続いています。例年だと雪が降るのに、今年はず雨。これから寒い日も来るとは思いますが、昨年のような異常寒波は来てはほしくないものですね。

○ところで、そのせいかどうか非常にカゼが流行し、県内でも休校する小・中学校が続出しました。私もカゼですが、町民の皆さんも、カゼなどひかないよう、くれぐれも身体を大切に、この冬を乗り切っていたきたいと思います。

S